

科目名	宗教学					単位	2.0
担当教員	菱木 政晴						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4310

●授業のテーマ

宗教・戦争・教育

●到達目標

宗教学の発達史を考慮しながら、なにが宗教であり、なにが宗教でないかという「宗教の定義」の問題と、なにが好ましい宗教でなにが好ましくない宗教かという「宗教の評価」の問題の違いについて説明できるようになり、そのことによって、宗教以外のさまざまな文化や社会現象と宗教との関係が理解できるようになる。

●学習内容(授業概要)

「日本国憲法・(旧)教育基本法」と「帝国憲法・教育勅語」を、宗教及び宗教教育に焦点を当てて比較することを通して、宗教学という学問の概要を講義する。

●学習内容(授業計画)

1. イントロダクション。「日本国憲法・(旧)教育基本法」と「帝国憲法・教育勅語」の構造の違い。
2. 日本国憲法および教育基本法(旧)における宗教教育の禁止
3. 帝国憲法と教育勅語における宗教教育
4. 宗教の定義と宗教の評価
5. (旧)教育基本法における「尊重される」宗教教育とは
6. 教育勅語とその時代における宗教教育
7. 宗教と戦争
8. 宗教と戦争と教育
9. 宗教教育の種類 宗教についての教育と宗教安全教育
10. 宗教教育の種類 宗教心を培う教育
11. 宗教教育の種類 宗教的情操の涵養
12. 宗教の定義と評価再論 宗教教育と道德教育
13. 昨今の「教育改革」論議とは
14. 宗教と戦争と教育再論
15. 試験(小テスト)

●準備学習・事後学習の内容

特に必要ないが、とにかく論理的思考を磨くために、講義内容を覚えるのではなく、講義で提示されたデータを自分で吟味し、自分の論理を構築する練習をする。自分の論理を構築すること自体は、いかなる学習においても求められる。

●成績評価方法・基準

すべて、期末の筆記試験、または、レポートによる評価

●テキスト（必携）
特になし

●参考文献／その他

菱木政晴『非戦と仏教』（白澤社、2005年1月）、菱木政晴『市民的自由の危機と宗教』（白澤社、2007年2月）、その他は就行時に適宜紹介。

●履修上の注意

特になし。